

岐阜農林事務所の普及活動状況

平成24年8月31日現在

今月の重点活動

■ブロッコリー 育苗開始

J A ぎふブロッコリー生産連絡協議会では、8/1 から全自動播種機を利用した播種作業を開始した。播種されたセルトレーは、J A 施設、花き生産者、営農組織で育苗される。農業普及課では、栽培管理及びポイントについて指導中である。

播種機は 8/23 まで稼働し、30 日程度育苗した苗が生産者に配布される。平成 24 年度産の栽培面積は約 15ha の見込み（23 年度産 12.5ha）。



【ブロッコリーは種風景】

活力ある新産地づくり

■品目・指導対象等 アスパラガスハウス栽培研修会各地で開催！

管内のアスパラガス栽培は、ハウス栽培の長期収穫で「二期どり栽培（春どり＋夏秋どり）」が普及している。平成 23 年度で栽培面積約 1.2 ha、出荷量約 10 t に増加している。

普及課では収量増加、品質向上による収益性向上を目的に、7・8月に各地で研修会を開催した。

ハウス栽培の生産状況と肥培管理について普及課より指導し、意見交換を行った。参加した栽培者からは、かん水技術と追肥等に関する意見交換が活発に出された。

また、7月25日には、羽島市のアスパラガス産地がNHKぎふ「ホットイブニングぎふ」で紹介され、普及課では、取材の対応を行った。



【研修会の様子】

売れる農畜産物づくり

■かき 大玉生産にむけ摘果検査を実施！

・かきの大玉生産に向け、各地区の振興会で摘果検査を7/24～8/3の期間に実施した。今年は着果量が多く、例年以上に不合格園が多いため、農業普及課は、摘果資料の作成配布、巡回などにより摘果の徹底を図った。



【丸糸柿振興会の摘果目揃い会】

■小麦 イタリアンライグラス防除対策検討

・小麦ではイタリアンライグラスが多発するほ場が一部目立っており、8月10日に効果的な防除対策について検討した。

耕起前のパラコート剤使用による除草効果が期待できることから管内5カ所で試験区を設置することとなった。

■花き 国体花飾り用花壇苗生育概ね順調

・ぎふ清流国体、大会のメイン会場周辺花飾り用としてサルビア、マリーゴールドなど花壇苗約 16000 株の生産が行われている。一部の生育不良を除いて概ね順調に生育しており、納品時期に併せて開花させるため、農業技術センター、農業経営課岐阜駐在と連携してピンチ、プランターの鉢上げ時期等について指導を行っている。

■えだまめ えだまめGAP巡回調査実施中！

・JA ぎふえだまめ部会では、今年度中に全部会員（264 戸）の GAP 個別調査を終える予定である。

普及指導員は、関係機関と協力しながら異物混入や農薬事故防止に向けて指導を行っている。

・8 月 2 日には、岐阜市教育委員会主催の先生に対する夏期研修講座が行われ、JA 担当者、普及指導員が講師を努め、「岐阜えだまめ」に対する理解を深めた。

次年度岐阜市の副読本にえだまめの頁が増加されることから、副読本の作成についても支援を行っている。



【収穫実演回の様子】

戦略的な流通・販売

■品目等 タイトル んごいちごと高校生がコラボ！

・JA ぎふ岐阜市いちご部会では、市内の教育機関と連携し、商品の開発を行っている。

その一つとして、市立岐阜商業では、市岐商デパート（学園祭）で昨年より「んごいちご」を使った商品を、地元のお菓子屋と共同開発している。昨年は 4 種類開発したが、今年は 2 種類追加し開発を行った。8 / 18 には、JA ぎふのおんさい広場にてテスト販売を行い、最終的に市岐商デパートで販売を行う予定。農業普及課では、このような農商工連携を進めるため、各関係機関の連携を強化している。



【開発したブッセとレアチーズケーキ】

魅力ある農村づくり

■小菊 ふれあいバザールにて小菊栽培研修会を開催

山県市の美山地域では鳥獣害の少ない作物として、以前から小菊栽培が行われている。

7/4に農業普及課が小菊をテーマに実施した直売所研修会を契機に、7/25にはほ場巡回、また8/20には栽培研修会を開催した。

直売所のニーズにあった出荷方法や品質の向上をめざし、栽培管理の改善について指導した。研修会には約15名の栽培者や栽培意向者が参加した。



【現地指導の様子】